

# 2019年3月期第1四半期 決算説明資料

2018年8月8日（水）

株式会社 **力ネカ**

# 目 次

---

業績概要	1
四半期別 売上高・営業利益	2
セグメント別 売上高・営業利益	3
事業概況	4
貸借対照表	8
業績予想	9

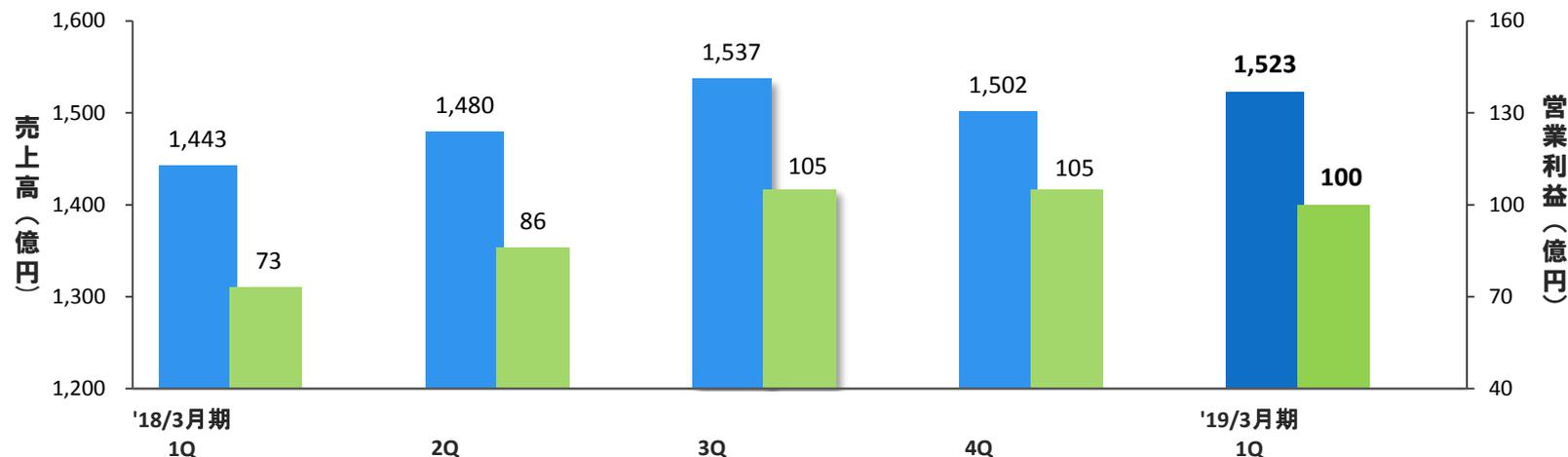
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(単位：億円)

	2018年3月期 1 Q	2019年3月期 1 Q	増減	
			金額	%
売上高	1,443	1,523	80	5.5%
営業利益	73	100	27	37.9%
経常利益	72	91	20	27.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	48	63	15	32.0%
1株当たり四半期純利益	14.43円	19.18円		

- 売上高は5.5%の増収。生産能力増強を進めたグローバル事業の成長が牽引
- 営業利益、経常利益、純利益はそれぞれ大幅な増益
- 昨年より変更した経営システムに沿い取り組んでいる事業ポートフォリオの変革が着実に成果として実ってきている

# 四半期別 売上高・営業利益



(単位：億円)	2018年3月期				2019年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	1,443	1,480	1,537	1,502	1,523
営業利益	73	86	105	105	100

- 3四半期連続で売上高は1,500億円超、営業利益は100億円超を達成
- 海外需要が拡大するなか生産能力増強の効果が表れるなど、収益力は大きく向上

# セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2018年3月期 1Q	2019年3月期 1Q	増減		2018年3月期 1Q	2019年3月期 1Q	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	57,034	62,491	5,456	9.6%	5,747	7,837	2,090	36.4%
Quality of Life SU	35,618	38,601	2,982	8.4%	2,839	3,695	856	30.1%
Health Care SU	11,209	11,415	205	1.8%	2,364	2,382	18	0.8%
Nutrition SU	40,051	39,454	△597	△1.5%	1,220	1,197	△22	△1.9%
その他	387	307	△79	△20.6%	244	164	△79	△32.7%
調整額	-	-	-	-	△ 5,164	△ 5,277	△113	-
計	144,302	152,271	7,968	5.5%	7,252	10,000	2,747	37.9%

※SU : Solutions Unit

<b>Material</b>	Vinyls and Chlor-Alkaliは塩化ビニル樹脂・か性ソーダが国内外ともに好調な販売、Performance Polymersはグローバルに拡大する需要に対して生産能力増強を進め、販売が拡大
<b>Quality of Life</b>	E & I Technologyはスマートフォン高機能化により需要量が増加しており好調な販売、Performance Fibersはアフリカ市場における頭髮分野の需要が順調に回復
<b>Health Care</b>	Medical Devicesは国内外で販売が拡大し償還価格改定の影響をカバー、Pharmaはバイオ医薬品の販売が順調に拡大
<b>Nutrition</b>	Foods & Agrisは製菓・製パン市場が低迷するなか提案型営業により需要喚起を進めた、Supplemental Nutritionは還元型コエンザイムQ10の販売が引き続き増加

売上高

625億円 (対前年同期 9.6%増)

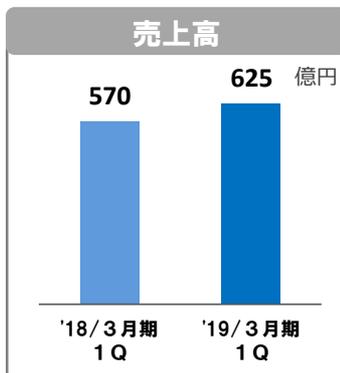
売上高構成比

41.0%

営業利益

78億円 (対前年同期 36.4%増)

売上高



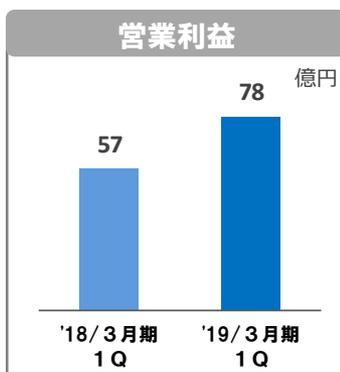
Vinyls and Chlor-Alkali

- ・ 塩化ビニル樹脂及びか性ソーダは、国内外ともに販売が好調
- ・ 引き続き需要が強い塩素化塩ビ及び塩ビペースト樹脂を含め塩ビクロールアルカリ事業は堅調に推移

Performance Polymers

- ・ モディファイヤーは、非塩ビ向けなどの用途拡大が進み、アジア市場を中心に好調な販売
- ・ 変成シリコンポリマーについても、世界オンリーワンプロダクトとして需要がグローバルに拡大しているなか、マレーシア新設備が本格的に寄与し、販売が大きく伸びた
- ・ 今後は、ベルギーの能力増強設備を計画通り立ち上げ、更なる需要拡大に対応していく
- ・ 欧米市場において果物・野菜袋用途などで採用が進む生分解性ポリマーの生産設備の能力増強を決定した。海水中でも生分解する素材であり、マイクロプラスチック問題へのソリューションとして市場開発を進めていく
- ・ 自動車・電子部品向けにエポキシマスターバッチの用途開発が進展している
- ・ また次世代先端技術素材としての航空機・宇宙産業向け複合材についてもプリプレグ生産設備の新設を通じ、スピードある事業展開に注力していく

営業利益



売上高

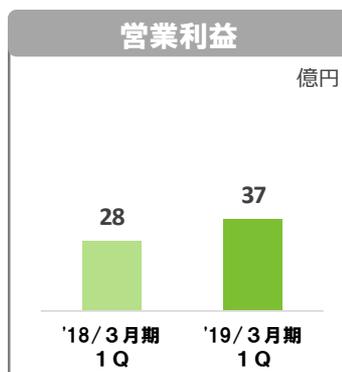
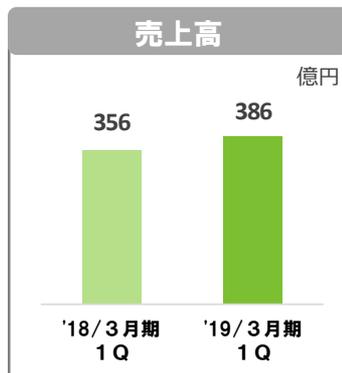
386億円 (対前年同期 8.4%増)

売上高構成比

25.4%

営業利益

37億円 (対前年同期 30.1%増)



## E & I Technology

- 超耐熱ポリイミドフィルムは、スマートフォンの高機能化に伴い需要量が増加しており、好調な販売
- ディスプレイ向けなどポリイミド新製品も販売が拡大
- 今後、デジタルデバイスの小型化や高機能化に伴い、飛躍的な需要拡大が見込まれる超高温伝導グラファイトシート及びその原料である超耐熱ポリイミドフィルムの大幅な生産能力増強を決定
- 原料から製品まで一貫生産する唯一のメーカーとしての強みを活かし、事業の拡大を進めていく

## Performance Fibers

- アフリカ市場における頭髮分野の需要が順調に回復を続けており、高機能頭髮としてのブランド力を強化し、アフリカ及びその他市場での更なる需要開拓を進めている
- 難燃分野は欧米での作業服向け需要が旺盛であり、販売が拡大

## Foam & Residential Techs

- 販売が順調に拡大し、原料価格高騰に対する販売価格転嫁とコストダウンを進めている
- ビーズ法発泡ポリオレフィン は、自動車分野などの需要拡大に対し、タイ工場の立ち上げ、ベルギーでの能力増強などグローバルな供給体制強化を進めている

## PV & Energy management

- 高効率太陽電池新製品の販売が拡大し、構造改革が着実に進展
- 窓や壁などの建材と一体化した当社独自の太陽電池を活用して、住宅やビルのゼロエネルギー・マネジメント・システムを開発していく

売上高

114億円 (対前年同期 1.8%増)

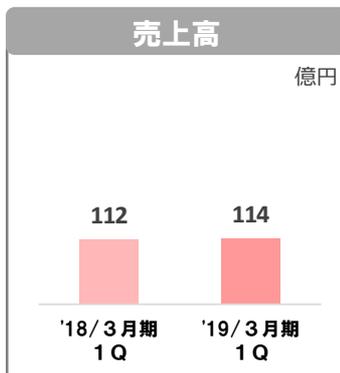
売上高構成比 7.5%

営業利益

24億円 (対前年同期 0.8%増)

## 売上高

億円



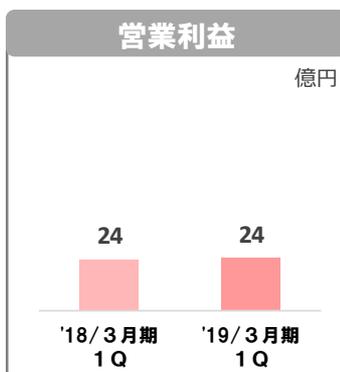
## Medical Devices

- ・ 高機能バルーンカテーテルや電極カテーテルなど新製品の販売が順調に進むとともに、海外市場での販売が拡大し、国内における償還価格改定の影響をカバーした
- ・ 今後も薬剤を塗布したバルーンカテーテルや消化器用カテーテルなど新規医療領域の事業拡大に注力する

## Pharma

## 営業利益

億円



- ・ カネカユーロジェンテック社のバイオ医薬品の販売が順調に拡大。生産能力増強を計画通りに進めていく
- ・ カネカシンガポールにAPI・中間体製造用途の連続生産設備を導入し、6月より商業生産を開始。多様な品種を効率よく生産できる体制を活かして、低分子医薬品分野の事業強化を進め、Health Care分野での総合的な事業拡大を加速させる

売上高

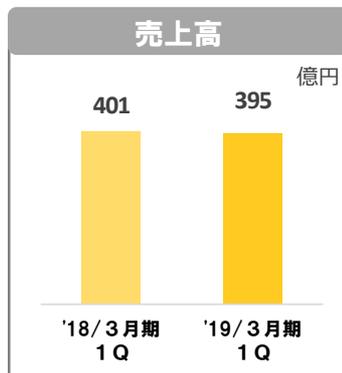
395億円 (対前年同期 1.5%減)

売上高構成比

25.9%

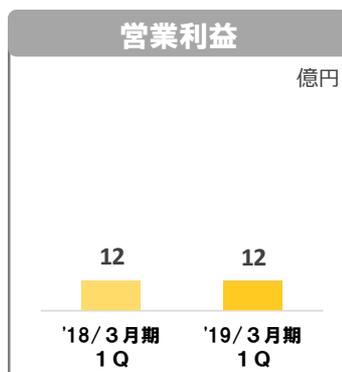
営業利益

12億円 (対前年同期 1.9%減)



## Foods & Agris

- ・ 製菓・製パン市場が低迷するなか、大手製パン、コンビニエンスストアや食品メーカーへの積極的な提案型営業による需要喚起を進めた
- ・ インドネシア事業は順調に拡大
- ・ 新たに参入した乳製品事業では、牛乳に加えて発酵バターの販売も開始  
今後も新たな乳製品のラインアップを充実させるとともに、食料生産支援事業と組み合わせて、酪農家の生産性向上や循環型酪農の発展に貢献していく



## Supplemental Nutrition

- ・ 主力の還元型コエンザイムQ10の販売が米国市場を中心に引き続き増加
- ・ 今般出資したスペインの乳酸菌会社を活用して、サプリメント素材の品揃えを増やし、グローバルに事業を拡大していく

(単位：億円)

	2018年3月末	2018年6月末	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	3,063	3,126	64
固定資産 等	3,335	3,365	30
資産合計	6,398	6,491	94
<b>負債の部</b>			
有利子負債	1,131	1,155	23
その他	1,800	1,827	26
負債合計	2,932	2,981	49
<b>純資産の部</b>			
自己資本	3,262	3,304	43
非支配株主持分 他	204	206	2
純資産合計	3,466	3,510	44
<b>負債、純資産 合計</b>	<b>6,398</b>	<b>6,491</b>	<b>94</b>

- 総資産は、積極的な設備投資継続による有形固定資産の増加や、売上高増加に伴うたな卸資産の増加により増加

- 当面の世界経済については、トランプ政権をはじめとする各国の保護貿易政策による企業活動への負の影響が心配される世界はひとつに繋がっており、先行きの不透明感が高まっている
- この様な変化の予測が難しく厳しい経営環境の中でも、当社は新たな経営システムに基づき、R & Dやグローバル展開を更に強化し、ぶれない足腰の強い新しいポートフォリオ構造への変革を加速していく
- 第2四半期以降は、継続して原料価格上昇に対する価格修正を進めるとともに、海外拠点での生産能力増強でグローバル競争力が向上するモディファイヤー、変成シリコンポリマーの拡販、IoT、AI社会の到来により需要が急拡大するE & I、新製品開発が進むHealth CareやSupplemental Nutritionなど戦略的重点事業の拡大に取り組んでいく
- あわせてオープンイノベーション、アライアンス、M & Aを進め、事業基盤の強化に注力していく
- 以上のことから、連結業績予想に変更はありません

## <参考>2018年5月11日公表の2019年3月期連結業績予想

(単位：億円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (予想)	増減
売上高	5,961	6,500	539 (9.0%)
営業利益	369	420	51 (13.9%)
経常利益	328	370	42 (12.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	216	230	14 (6.6%)

【2019年3月期 前提条件】 為替レート：105円/米ドル、125円/ユーロ 国産ナフサ価格：50,000円/KL

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

＜IRに関するお問い合わせ＞

株式会社 **カネカ** IR・広報部

TEL : 03-5574-8090